

令和7年第11回東浦町教育委員会定例会会議録

開 催 日 令和7年11月7日（金）
場 所 東浦町役場 第2委員会室

出席者の氏名

教 育 長	庄 子 亨	職 務 代 理 者	草 野 由美子
委 員	水 野 善 久	委 員	中 村 希代美

欠席者の氏名

委 員 浅 田 謙 司

出席職員の氏名

こども未来部長	教 育 課 長	教育課主幹兼指導主事	教育課統括課長補佐兼指導主事
教育課長補佐兼教育企画係長	教 育 課 主 事		

傍聴者 0名

会 議

開 会 午前9時30分

あいさつ

（ 教 育 長 ） だいぶ涼しくなり、冬が近づいている感じがします。
生路小学校での修学旅行が無事終わりました、学校での大きな
行事は終了しました。さまざまな事業がありますが、全て順調に
進んでいると思います。
皆様も健康に気を付けてお過ごしください。
（ 教 育 長 ） 出席者4名を確認し、会議の成立を確認します。

日程第1 令和7年第10回定例会会議録承認

日程第2 議案第46号 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

（ 教 育 長 ） 議案第46号の説明を求めます。
（ 教 育 課 長 ） 議案第46号「令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

て」を説明。

(教 育 長) 質疑を求めます。

(中 村 委 員) 資料1の3ページ5(2)に、「わずかに高い」「やや高い」とありますが、どちらがより高いのでしょうか。

(教育課統括課長補佐兼指導主事) 「わずかに」は、「差が非常に少し」であることを示しています。

(中 村 委 員) では、「やや」の方が、「わずかに」と比較して、差が大きいということですね。

(教育課統括課長補佐兼指導主事) なお、東浦町の令和7年度学力・学習状況調査の結果は、愛知県の令和7年度全国学力・学習状況調査結果と同じ傾向があります。小学6年生は全国平均より低い正答率となっていますが、中学3年生では、全国平均より高い正答率となっています。

(教 育 長) この結果は、マスコミ等で取り上げられたり、分析されたりしていません。

(水 野 委 員) なぜ、小学6年生は全国平均よりも正答率が低く、中学3年生は全国平均よりも正答率が高くなるのか、目につきますね。

(中 村 委 員) 小学校で築いた学習の基礎があつてこそ、中学校で学習の専門性が高くなっても学力を伸ばすことができると思うのですが、どうでしょうか。

(水 野 委 員) 全国学力・学習状況調査に特化した授業をしている地域もあると聞いたことがあります。

(草 野 委 員) 資料1の4ページ6(2)に「将来社会に出たときに役に立つと思っている割合が低い」と記載がありますが、こういった意図でこの質問をしているのでしょうか。授業で、「この勉強は、将来こういったことに役にたつよ」といったことを、力を入れて教えているのでしょうか。

(教育課統括課長補佐兼指導主事) 何のために学んでいるのかを伝えることはできていると思います。学んだことが役立つという体験を、小・中学校でさせてあげたいと思っています。

(草 野 委 員) 自分の学生時代を思い返してみると、勉強したことが後になってから役に立った経験があります。しかし、将来のために目的意識をもって学んでいる児童・生徒は、少なそうだと感じています。

(教 育 長) 今の学習指導要領では、学習したことと自分の生活は関連しているという観点がありません。例えば、教科書に記載があるから、九九を学習しないといけないということになっています。なぜ学習するかということを勉強させるのが学校教育だと思っています。

現状では、教員もカリキュラムが多いので、時間割ごとに決められた授業を行っていますが、なぜこの学習が必要かという最初の導入の工夫が必要だと思います。そういった工夫を繰り返していくことで、勉強って面白いと思う子が出てくるかもしれません。目的意識なく「何で勉強しないといけないのだろう。」と思いながら、勉強していたら意欲は減ってしまうと思います。勉強を好きにさせる工夫をし、日頃の授業を改善する必要があると思います。

(水野委員) 資料1の3ページ6「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果」についても、良い結果が書いてあります。

学力・学習状況調査の結果が、小学6年生では正答率が高いのに、中学3年生では正答率が低くなると良くない気がしますが、今回の結果では、小学6年生は正答率が低いのに、中学3年生では正答率が高くなっています。小学校で悪い結果でも、中学校で良い結果になっていることから、今後が楽しみであると思いました。

(教育長) 他に質疑を求めます。

《質疑なし》

(教育長) 質疑がございませんので、議案第46号について採決します。異議のある委員の発言を求めます。

《全員異議なし》

(教育長) 議案第46号は原案のとおり承認いたします。

日程第3 議案第47号 令和7年度東浦町一般会計12月補正予算案（教育費）を町長に申し出ることについて

(教育長) 議案第47号の説明を求めます。

(教育課長) 議案第47号「令和7年度東浦町一般会計12月補正予算案（教育費）を町長に申し出ることについて」を説明。

(教育長) 質疑を求めます。

(水野委員) もう一度確認ですが、県からの補助金が100万円入り、それを賄材料費に充てるということでよかったでしょうか。

(教育課長) 歳入の賄材料費に、この100万円を補填します。ただし、補助金の100万円のみで給食をつくるわけではありません。この補助金を活用して、2026年度に行われるアジア・アジアパラ競技大会の開催に合わせ、アジア各国の料理にちなんだ給食をつくります。

- (水野委員) 愛知県の市町村では、同様の事業を行うのでしょうか。
- (教育課長) この事業は手上げ方式です。本町では、アジア各国の料理の給食提供が可能であったため、補助金の申請を行いまいした。
給食の提供以外にも、補助対象事業がございます。
なお、今回の補正予算資料は、人事院勧告に基づく遡及改定については反映しておりません。

日程第4 議案第48号 東浦町教育委員会名義後援について「マイクラフトを使った小学生向けのプログラミング的思考力を育む親子体験会」

- (教育長) 議案第48号の説明を求めます。
- (教育課長補佐兼教育企画係長) 議案第48号「東浦町教育委員会名義後援について「マイクラフトを使った小学生向けのプログラミング的思考力を育む親子体験会」」を説明。
- (教育長) 質疑を求めます。
- (中村委員) 14ページに「他の後援予定団体等 なし」と記載があります。開催場所が刈谷市ですが、東浦町だけに名義後援の申請があったのでしょうか。
- (教育課長補佐兼教育企画係長) 記載されている通りです。東浦町のみに名義後援の申請があったものと思われます。
- (中村委員) 22ページに、「プログラミング教室の無料体験会」と記載があります。「プログラミングの体験」ではなく「プログラミング教室を体験してもらう」ことが目的となっているように感じます。
- (教育課長補佐兼教育企画係長) 営利目的や勧誘目的である事業と、そうでない事業との線引きが難しいと思っています。小学生にプログラミングを体験できる機会を与えているという点で、公益性があると判断して良いのではないのでしょうか。事業者からは、体験会後の勧誘は行わないと確認しております。
- (水野委員) しかし、教育委員会として、体験会後にプログラミング教室への勧誘があったかどうか、確認することは難しいと思います。
- (中村委員) 特に23ページのチラシの案の内容は、プログラミング教室への勧誘を目的として作成されているように感じます。
- (草野委員) 親子体験会と記載がありますが、必ず親子で参加しないといけないのでしょうか。
- (教育課長補佐兼教育企画係長) 資料の内容等からは、子どもだけで参加しても良いのか、親子で参加しないといけないのか分かりかねます。
- (教育長) プログラミング教室の校舎のある、刈谷市と高浜市の状況を確認

認してみてもはどうでしょうか。

(事 務 局) 刈谷市および高浜市の教育委員会に確認いたしましたが、同様の名義後援申請に対する承認実績はないとのことでした。

(教 育 課 長) この事業は、勧誘することを前提とした事業である可能性が高いと思います。総合的に判断し、中立性や公共性が低いと捉えることができます。

(こども未来部長) 実施場所が主催者の運営するプログラミング教室であって、東浦町内での実施でないことや、参加者が東浦町の児童に限定されていないことから、東浦町として名義後援をする必要性は低いと感じました。

(水 野 委 員) 今回の名義後援は見送って良いと思います。

(教 育 長) 他に質疑を求めます。

《質疑なし》

(教 育 長) 以上の意見から議案第 48 号について、教育委員会として後援することがふさわしくないため承認を見送ることとします。異議のある委員の発言を求めます。

《全員異議なし》

(教 育 長) 議案第 48 号は不承認といたします。

日程第5 教育長報告（令和7年10・11月）

【日 付】	【報 告 内 容】
10月17日(金)	学校訪問（生路小学校）
10月21日(火)	行政経営会議
10月24日(金)	町村教育長研修会
10月29日(水)	学校経営会議
10月31日(金)	現職教育発表会
11月4日(火)	知教協幹事会
11月7日(金)	第11回教育委員会定例会

日程第6 教育委員報告 学校訪問（生路小学校）

(中 村 委 員) 10月17日(金)に、生路小学校の学校訪問に行ってきました。温かい雰囲気の中で、子供たちは素直で距離感が近く、どの学年も笑顔があふれていました。

学校の研究主題が、「主体的に学び、考えを深めることができ

る児童の育成」でした。見せていただいたのは、自由進度の授業だと思います。そこで、電子黒板を使いこなす児童たちに驚きました。それと同時に、電子黒板の大きさを再認識し、倒れてこないか心配になりました。子供たちの発表は、今までの小さなスクリーンとは異なり、電子黒板の大きな画面を活用していました。また、前の発表に戻り、「ああそうだった」と振り返るような使い方もしていて良かったです。

また、様々な材料を使って楽器を作るという授業をしていたクラスでは、別室で子供たちが電子黒板を使い、曲を選んで演奏しており、使い方がすごく良いと思いました。

先生方は包容力があり、子供たちを全力で受け止めてくださっていて、だからこそ子供たちはあんなに素直に育っているのだなと感じました。

研究授業は6年生のクラスでした。日本と繋がりのある国について、何時間かけて調べたことを発表するということでした。さまざまな国があり、子供たちも多様な観点から、国を調べていました。自分が調べた国以外も学べる機会になっていて、良かったと思いました。

生路小学校の児童が素直で明るいのは先生方のおかげと感じました。温かい雰囲気笑顔あふれる学校でした。

来年以降、生路小学校が150周年の記念の年になるそうで、地域や学校と一緒にさまざまな行事を考えているということを知ったので、楽しみだなおもっております。

日程第7 各課報告（令和7年10月・その他）

（教 育 長 ） 事務局より説明を求めます。

（教 育 課 長 ） 教育課報告について説明。

（教 育 長 ） 質疑を求めます。

《質疑なし》

閉 会 午前10時43分

会議録作成者 教育委員会事務局

令和7年第11回東浦町教育委員会定例会会議録承認署名

令和7年12月24日(水)

署名

・ 庄子亨

・ 草野由美子

・ 水野善久

・ 浅田祐司

・ 中村希代美